

2023.3.31発刊

**3月号
159号**



創意工

高付加価値部品の「トップブランド」を目指して

第54期上半期の実績について



代表取締役
清水 克洋

軸受生産用機械部品・工作機械部品・半導体製造装置部品が部品事業における主力3分野ですが、半導体分野において2022年秋ごろよりお客様の生産台数が急激に減少し、当社の受注量も大きく減少しました。右肩下がりでの減少が続いたところから、直近については下げ止まつたような状態にあります。が、半導体分野での先期における月間最低受注高が今期ここまでの一ヶ月間最高受注高に留まるなど、先期比で3分の1以下の受注高まで落ち込んでいます。軸受分野においては先期から大きな変化ではなく、また工作機械分野においては先期より若干受注量が増加している状態です。

設備事業については、期初に計画した通りの売上を現在のところは達成できています。また、3月中に大型設備の出荷を計画しており更なる上乗せが実現できます。ただ、この売上は先期における受注品の納入による売上のため、下期の計画はまだ目標に対しては未達です。受注か

2022年10月からの第54期について
は、1年を通して受注・売上ともに好調に
推移した第53期とは大きく変化したとこ
ろからのスタートとなりました。

今後の見通しについて

第54期下半期の事業指針

先期は受注が好調に推移したため、当社では受注品を納期通りに加工することに注力していました。納期を守るために効率的なものづくりが求められ、この点は強化されてきたと思います。

効率的なものづくりは、短納期対応の実現につながります。短納期品や試作品への対応はお客様から根強い要望としてあることから短納期品や試作品への対応は、その先の量産品や異なる依頼増加につながると捉えています。営業部門はこの短納期品や試作品依頼についてお声掛け頂けるように営業活動を進め、製造部門ではそれらを確実に仕上げることを目指してほしいと思います。

第53期では好調に推移した部品事業について、受注量が減少するなど一時的なマイナス影響もありますが、先を見据えると業界全体そして当社のお客様先の生産量が回復傾向に向かっている予測もあるなどプラスの変化もあります。その変化に對して、当社事業も変革していく必要があると感じています。

業績が回復傾向にあること、原油高騰によって燃費効率の高い航空機の需要拡大が見えてきます。自動車分野においても、EV化の進展により試作案件が多く発生するなど当社にとってプラスに作用する市場概況となっております。

設備事業については、お客様からの設計製作に関する引き合いは多く頂戴することができますが、受注には至っていない状態です。先述の通り設備事業は、受注から検収までの期間が長いため、今期だけを考えるのではなく、先を見据えた営業活動、受注獲得が必要となります。

シゴトの”こだわり”

朝の一時間で
モチベーションを高める

製造3課 大森 勉さん



仕事をする上で欠かせないものやこだわりについて、リレー形式をお伺いしていきます。今号は製造部製造3課から、大森さんにお伺いしました。

仕事に取り組む時のこだわりは朝7時に出社し、8時の始業までの一時間を使って、新聞や本などの活字を読むこと、ラジオ体操をするルーティーンです。

企業は利潤の追及が使命だと考えています。そして企業に所属していることは全員が生産性を高めて企業に貢献する必要があると考えています。この朝のラジオ体操のルーティーンは、体を目覚めさせて最高の状態で始業を迎えるためのモチベーションを高める時間です。

スポーツでは勝利のために最高の準備や最高の努力をして臨むと思いますが、仕事にも同じことが言えます。そして、準備や努力をしているからこそスポーツで言えば勝利、仕事で言えば成功した際にはなぜ上手くいったかという確信が持てるようになります。また、負けてしまったり、失敗してしまったとしてもなぜダメだったか解決すべき課題が見つかります。

一方で、準備や努力をせずに勝利すると慢心になり、負けると後悔といずれにしても後に続くものがないります。

仕事をする前に小さな目標でもいいのを立てる前に小さな目標でもいいのでしっかりと一つ一つ達成していくことで次第に大きな目標に近づいていきます。逆を言えば、大きな目標を持つっていても小さな事柄をおろそかにすると決して成し遂げることができないこともあります。

始業前
一時間の過ごし方

仕事に取り組む時のこだわりは朝7時に出社し、8時の始業までの一時間を使って、新聞や本などの活字を読むこと、ラジオ体操をするルーティーンです。

企業は利潤の追及が使命だと考えています。そして企業に所属していることは全員が生産性を高めて企業に貢献する必要があると考えています。この朝のラジオ体操のルーティーンは、体を目覚めさせて最高の状態で始業を迎えるためのモチベーションを高める時間です。

スポーツでは勝利のために最高の準備や最高の努力をして臨むと思いますが、仕事にも同じことが言えます。そして、準備や努力をしているからこそスポーツで言えば勝利、仕事で言えば成功した際にはなぜ上手くいったかという確信が持てるようになります。また、負けてしまったり、失敗してしまったとしてもなぜダメだったか解決すべき課題が見つかります。

私が好きな松下幸之助のある小学校の視察のエピソードがあります。経営者である松下幸之助が視察に訪れた際、小学生に深々と頭を下げている姿を見て、近くの関係者の人がなぜ頭を下げるのかと尋ねたところこの生徒たちの中から将来、自社に入社してくれる生徒がいるかもしれないからと答えたそうです。例え経営者であっても、常に謙虚でなければいけないと感じさせるエピソードです。

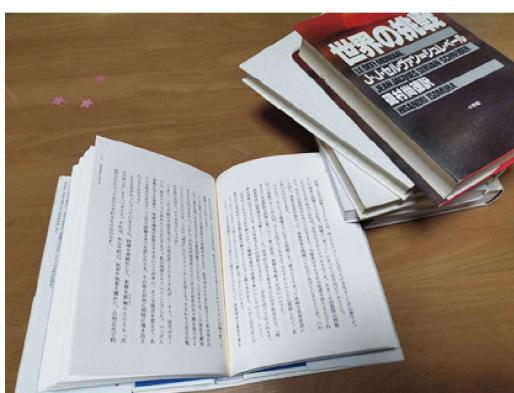
石金精機の創業者の時代から40年勤めています。その間に様々な出来事がありました。それでも続けてこれたのは、当時創業者から掛けられた言葉があつたからだと感じています。そして、その言葉おかげで会社に残り、家族を守つてこられたと思っています。

長年勤めても、決して慢心せずに毎日1時間のルーティーンを大切にすることで常にベストコンディ

しかしながら、明日から急に努力ができるようになるかと言うと難しいと思います。「大事の前の小事」という言葉がありますが、大きな目標を立てる前に小さな目標でもいいのを立てる前に小さな目標でもいいのでしっかりと一つ一つ達成していくことで次第に大きな目標に近づいていきます。逆を言えば、大きな目標を持つっていても小さな事柄をおろそかにすると決して成し遂げることができないこともあります。

始業前
一時間の過ごし方

謙虚な姿勢で
常に取り組む



活字を読むことで得られる学び

次号の推薦者

次号では、生産管理課の中河さんを推薦します。自分と同じく長年勤めておられることから、どのような仕事に対するこだわりがあるかお伺いしてみたいです。

ションの状態で仕事に取り組めるようになります。年にこれからも朝のルーティーンを続けていきます。

一日8時間労働とすると人生の3分の1は仕事の時間になります。プライベートの充実ももちろん大切ですが、自分を成長させるためには、やはり仕事が一番だと考えてます。全員が同じ方法で成長しなくても、一人一人に合った目標や努力の仕方があるはずです。

石金ニュース！ ISHIGANE News

NEW FACE紹介～製造部・生産統括部・営業課～

最近入社した、製造部1名、生産統括部1名、営業課2名の計4名の方に入社を決めたきっかけや今後の意気込みなどを伺いました。



製造部 製造3課
組立B K
石橋 真依子さん
入社日:2022年11月1日

■入社を決めた理由・今後の意気込み

職業訓練センターの求人票を見たことがきっかけでした。会社見学をした際に工場内が整理整頓されていたことや製造業でも女性が多いことから働きやすい環境だと感じ、入社を決意しました。また、入社後にどのようなことをするか具体的な仕事内容についてもお話をいただけたことも理由の一つです。

実際に働いてみて、自分の時間がしっかりと持てるようになります前職よりも各段に働きやすい、良い職場だと感じています。

入社から約5ヵ月が経ちました。現在はNCワイヤー技師として機械部品の加工を担当しています。前職とは全く異なる仕事内容ですが、少しずつ慣れてきたと感じています。ですがまだまだ出来ないことが多いので、分かることや出来ることを増やしていきたいです。



生産統括部 生産管理課
日程管理B K
多鍋 太地さん
入社日:2022年12月14日

■入社を決めた理由・今後の意気込み

ものづくり業界に興味があったこと、前職で行っていた納期管理と似た仕事内容であったことから入社を決めました。新卒採用時は製造業を避けっていましたが、改めてものづくりになんらかの形で携わりたいと考え、求人に応募しました。

日程管理B Kでは、出荷業務の準備や材料の発注、納期や工程の進捗管理を担当しています。前職の仕事内容と似ても、図面の見方など始めて学ぶことも多く、毎日一生懸命でした。特に最初の一ヶ月は目の前の業務を覚えることに精一杯で今思い返してもあつという間に過ぎ去っていました。

前職との思ひぬ違いは、デスクワークでも移動が多いということです。座りっぱなしではなく、度々工場へ足を運ぶ必要があり、運動量がとても多くなったと感じています。健康面も改善しつつ、実務もスキルアップしていきたいです。



営業課 管理B K
村本 真利さん
入社日:2023年1月23日

■入社を決めた理由・今後の意気込み

ものづくりに携われる仕事ということで入社を決めました。自分自身は何かを作るような技術はありませんが、間接的にでもものづくりに関わりたいという思いがありました。また、様々な分野の幅広い仕事を請け負っていることも魅力を感じました。

管理B Kでは、注文に対する受注入力や納品準備をしています。事務仕事ではありますが、主に金属を取り扱っていることから力仕事が予想外に多く、驚いています。重たいものを扱うときは大変ですが、仕事を覚えて、一日でも早く戦力になるよう、頑張りたいです。



営業課 管理B K
松木平 里美さん
入社日:2023年3月1日

■入社を決めた理由・今後の意気込み

実家が流杉ICの近くということで、以前から社名は知っていました。転職活動の中で企業調査を行い、積極的に最新技術等に取り組もうとしている姿に感銘を受けました。また、前職が旅行業ということで航空機事業があるという点も興味を持つきっかけになりました。

入社して間もないため今は勉強の期間だと感じています。見積書の作成や検収書の確認、請求書の発行、入金金額の確認などを行なながら、業務を学んでいます。一日でも早く戦力になるよう、頑張りたいと思っています。